

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年1月11日（水）16時00分～17時10分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、加藤原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
栗崎企画調査官、石井主任監視指導官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他8名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 ガラス固化処理技術開発施設（TVF）における固化処理状況について
資料2 東海再処理施設の保全について
資料3 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	減少規制庁の加藤です。それでは早速ですが本日の面談を始めさせていただきますと思います。早速、いただきました資料に基づきまして、まずガラス固化の状況についてご説明をお願いします。
0:00:14	はい森川です。それでは資料 1、2 ページ目になります、T V F の固化処理状況についてということで説明させていただきます。
0:00:25	今回の資料につきましては、前回の会合でのコメントをとして、3 号炉の更新判断、こちらについての比較評価ですねこちらの定量性の説明、
0:00:38	あとは 2 号炉を使用しなくて 3 号炉に更新することについてのリスクの洗い出し、そちらの対応についてを資料としてまとめてます。また原因調査につきましては、
0:00:53	スケジュールですね調査のスケジュール等今現状現地調査を進めてますのでその進捗状況について資料として整理しております。こちらについては次回の会合で説明したいというふうに考えております。
0:01:07	まず 3 ページ目、3 号炉の更新判断についてということで、こちらの方前回の会合でも示しておりますけど、今回の運転を踏まえて 3 号の更新判断ということでこちら A B C ですね。
0:01:23	こういう形で更新判断をしていくと。
0:01:26	それを踏まえて両括弧に今回の運転の状況ということで、こちらの方補助額検討書でパラメーターにより上長によって進めたもの。
0:01:37	前回と同様の位置にガラスが残留し、目標に対して少ない本数で運転終了方法でそれを踏まえて両括弧 3、
0:01:46	2 号炉の運転継続する場合と 3 号炉早期導入する場合の比較評価を行うと。
0:01:52	ということで 303 の一つ目ですね 2 号炉をの運転継続する場合につきましては残留過剰強作業の影響等も考えられ、今回と同程度 25 本程度になる可能性が高いと。
0:02:06	ということで、運転継続する場合としない場合についてのオーバーラップ効果処理完了までの期間について定量的に比較評価を行ったと。
0:02:15	4 ページ目、その評価についての前提条件ということで、確認されましたように 2 号炉での運転継続する場合は 1, 825 本とすると。
0:02:26	3 号炉につきましては、製造本数 1 キャンペーン当たり 80 本と、
0:02:32	設定しております。ただ 2 号の実績等を踏まえて、まず 60 本から段階的に 7080 とふやしていくと、そういうようなケースで設定すると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:43	3号の更新後につきましてはどのケースも製造本部と同じになることから各ケースが県までの評価という形で考えております。
0:02:54	2番目の自製につきましては※で書いてますけど、補0-12号運転開始から071まで115、その後、
0:03:03	59本20本25本という形で今推移していると。最初の00の1から出る7日111本まで一定程度れようとしたんですけどかなりいいガラスが残っていたということで、
0:03:15	このためにカレット洗浄に1回実施したということで、今後残留ガラス量でありますとか期間を考えて、3号炉で80本程度で取り合うとするという方針ですのでそういう意味で、3号炉についての製造本数は80本を1キャンペーン当たりって形で設定しております。
0:03:35	両括弧3の2として評価のケーススタディーですけど三つケース設定しております。一つ目は2号炉を全く使用せずに3号炉更新する場合、
0:03:44	ケース2として3号炉更新を今令和当初では何年度頃予定しておりますのでそれまでの間に、2号炉を継続する場合ということで2キャンペーン程度を2号炉使用した場合、その後3号炉に更新すると。
0:03:59	いう場合でケース3として2号炉そのまま継続使用する場合、この3ケースで比較評価をしております。
0:04:10	5ページ目、評価の結果ということで、この傾斜地の結果ですね。
0:04:17	軽水
0:04:20	さん等につきましては2号炉を継続使用するというのでこちらの25本ずつ運転していきますので当初は計算の方がガラス固化の処理が進んでいくと。
0:04:34	その次はケース2ってということで、2キャンペーン程度をガラス固化を行うということで、その間過疎化が進むと。
0:04:44	ケース1につきましては当面方に号炉運転しませんので、ガラス固化は進みませんが3年後、いろいろ更新ごとに3号炉で運転を開始すると。
0:04:55	60本70本80本という形でガラス処理が進みますので、その時点で、ケース1が一番ガラス固化の処理が進んでいくと、その後3号にずっと進みますので、
0:05:09	ケース2計算に比べてケース1の方が唐津固化処理までの期間が短くなるというような形で、今評価してるところでございます。
0:05:20	6ページ目、こちらは前回の会合でも示しましたが、3号炉の導入に関するメリットデメリットの評価ということで、2号炉使用せず3号炉を更新する場合と、2号炉使用する場合ということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:35	前回会合では2号の使用施設3号を更新する場合のデメリットですね、3号の更新、からそこが進まないということで二つ目が少し、ちょっと一つ追加しております。3号の運転条件確認試験、
0:05:51	これコールドで行いますがこれで十分な確認ができずに、3号の更新時期が遅れると、三つ目としては更新まで530本をガラス固化を製造する必要があり、事業踏まえ対応が必要になると。
0:06:05	これはデメリットがあるんですが2号炉を使用する場合につきましては、右側の下のデメリットですね、2号炉を運転することに伴って、3号の更新時期が遅れるということと、3号の更新に関連する作業等いろいろ並行して行うことによって、
0:06:23	リスクが増えてしまうということから、
0:06:26	2号炉を継続使用せずに、3号炉を更新する方が、最短でからそこ進められるというふうな形で考えておまして、今令和6年度末の近い所を目指したいというふうに考えております。
0:06:40	3号の更新についてリスクにつきましては7ページ8ページ目に整理しております。
0:06:49	まず3号炉の運転開始時期の遅れということでこちらについては3号炉でコールドで行います運転条件確認試験でこれで、
0:07:00	何か改善が必要になった場合はさんごの更新時期が遅れると、また二つ目として、この更新試験設備で不具合等が発生して試験が中断とをすると3号の更新時期が遅れると。
0:07:13	また2号炉の今回の運転の原因調査結果を踏まえて運転条件確認試験試験項目等がはかなり増えた場合は更新時期を超えてしまうんじゃないかと。
0:07:25	いようなリスクが考えられますが、これについての対応策ということで、一つ目のその運転条件確認試験につきましては、右側の対応策で書いておりますが、基本的に3号炉こちらは、
0:07:37	2号の構造から大幅な変更を行わないということで炉底の形状と勾配だけを変更年数60に変更していると。
0:07:47	ということで、これまでのシミュレーション解析等によって基本的に号炉と同じような固定系運転の温度分布、C、がえられるということを確認していると。
0:07:58	ということですので今年度の3月ごろに実施予定のガラスカレット試験、こちら3番予定しますがこのガラス会と試験で、
0:08:09	基本的なその運転パラメーターですね、溶融600運転からするか、こういうものは把握できるというふうに考えておまして今ここで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:17	何か問題等発生しなければ基本的には2号炉3号炉同じような運転パラメーターでできるものというふうに考えています。
0:08:26	その後行う運転条件を確認してこちらは実際の模擬廃液を使った試験でして白金族を含まない模擬廃棄8バッチ白金と福森館バッチです。
0:08:38	計16バッチで行いますがこれは、
0:08:42	バランスカレット試験で設定した運転パラメータをもとに、実際の白金族の抜き出してこういうのを見て、体積管理者をですね、2号炉設定した体制管理所、こちらの方の見直しに係るデータの取得、
0:08:54	また今後3号炉運転していくためにそのシミュレーション解析ですね、こちらを検証するための初期の温度分布等のデータ取得というのを目的として、
0:09:06	ということですので、基本的にこの勉強系確認試験ではこれのデータ取得も危惧しておりますので、この試験内容によって特に3号炉への影響はないというふうに考えてます。
0:09:19	一方その白金族の堆積等については、これまでの原因調査等を踏まえて、自然共感抵抗に影響しないように、早期検知してドレーンアウトする、またはそのた堆積したガラスの除去の手順の改善、
0:09:33	こういうソフト的な対応を図ることとしておりまして、この運転条件確認し系統の結果に関わる3号炉の更新を要しない対応を進めたいというふうに考えてるんでこういう
0:09:44	更新時期が遅れるというような影響は少ないというふうに考えてます。
0:09:48	あと二つ目のリスクとして設備の不具合等につきましてこの事例の点検、あとは試験の教育資金の教育訓練等によって、十分対応図った上で行うということ。最後現地調査を踏まえた運転、試験項目の増加につきましては、基本的にその運転パラメーターの変更を
0:10:08	は必要ないというふうに今のところ考えております仮に運転パラメータの変更が必要となった場合については、氏名表解析等を活用して必要な試験数内で、実施からの試験結果を張って策定することで、このような更新時期の遅れがないように対応を図っていくと。
0:10:26	いうふうに考えております。8ページ目。
0:10:29	こちら3号炉での実際の運転においての遅れということのついてのリスクということで、まず3号炉更新530本を今現状製造する必要があるということで、事業を踏まえて対応が必要になるんじゃないかと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:44	ということにつきましてははあと予測と書いてますかっていうのを設計寿命これはれんく構造材のレンガと電極の浸食速度を設定しております、これに余裕を加味、20 ミリですね、して腐食小 50 ミリと、
0:11:00	いうのを設定しております。これで大体 500 本相当という形で設定してま
0:11:05	実際に号炉の事業をし、設計浸食そ就職ですね、こちらの最初の、
0:11:13	購買製造後、
0:11:16	自然局と耐火レンガの形状計測を行っておりますして侵食速度を評価したところ、設計浸食速度 0.03mm/d a y に対してまし電極、01mmバーで耐火レンガ 0.03mm/d a y で、ほぼほぼ設計通りと言うことですので、この状況を踏まえると 3 号炉も同じような基本方向
0:11:36	でありますので、実績を踏まえて 530 本の製造は可能であると、いうことで、基本的には 3 ボールで運転可能というふうな形で考えてます。
0:11:46	そのときのリスクとして、
0:11:48	今回と同じような事象が 3 号炉で発生した場合、3 号炉の製造本数が少なくなるとガラス固化処理が伸びるのではないかと、ということについては 3 号炉では今回の原因調査結果等を踏まえますと、
0:12:05	白金族元素の体質から体制管理所を見直すということで白金族の早期検知によって、
0:12:12	今回の 20 日のキャンペーンと自然局間抵抗に影響及ぼす-1 のガラスの堆積、あとはその除去作業の影響を抑制する対策を今検討しております。これにより、
0:12:24	2 号炉での今回の運転と同様な事象が発生しないような対策を講じるということで影響ないというふうに考えておりますが、
0:12:33	3 号炉の運転状況を監視して、爆発高処理完了までの期間が遅延するような場合が発生した場合には、4 号炉の更新の必要性についてを検討していく必要があると。
0:12:44	いうふうに考えております。で、この 4 号炉の構造につきましては、現状 2 号炉の実績でありますとか 3 号の作動試験、
0:12:51	6 年度末からの運転状況を踏まえ、また残りの製造本数、製作期間等をも踏まえまして全体工程に影響遅れないように検討に着手するという一方で、一応 4 号については、ある程度必要性を踏まえた上で研究を着手していきたいというふうに考えております。
0:13:08	続きましてページの 10 ページ目、真砂講師に向けてのスケジュール、これは前回お示した資料ですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:18	現状令和3年度からでは4年度、令和3年度、令和2年度の第4四半期ですね、こちらの方で今解体を進めている状況で計画通り進めているところでございます。
0:13:33	9番の3号炉ですね、こちらの方も3、令和4年30年度の第4四半期末に唐津変えて試験を行う予定でこちらについて計画通り進めているところでございます。
0:13:47	10ページ目そちらの進捗状況ということで両括弧1、解体の廃棄物ですね硬化体交換するなり廃棄物につきましては4番参考で作業を再開しております、まず最初のホールドポイント残留ガラス除去装置二期の切断、こちらは令和5年6月ごろまでに実施する計画で進めていると。
0:14:08	両括弧23号の製作こちらについては、一応付帯配管等の取り付けを一応令和5年1月末ごろに入れて終了する予定で、引き続き開と試験に向けた準備を進めて令和5年の3月ごろにカレット試験を行う。
0:14:25	一応製作を完了する予定と。
0:14:27	その後先ほど専務車の運転条件確認試験を11月から12条のところに行くということで、これで一通りの3号炉に関する確認を終了する予定となっております。
0:14:41	両括弧3支店許可補正抵抗の低下に係る原因調査ということでこちらについては、
0:14:47	現在その運転データの調査残留ガラスショックの影響等を確認するためのコールドモックアップユールの調査等を行っておりますこれら調査結果を、
0:14:57	取りまとめて原因推定していくという予定で一応2月頃には一旦取りまとめて、
0:15:04	並行しシミュレーション解析等を踏まえて、11月号から予定しております運転状況確認試験での対策管理表との見直しに反映していきたいというふうに考えております。
0:15:17	現状の方針ですが11ページ目、こちらの前回も示しておりますが、基本的に左側にあります運転データの調査、
0:15:27	あとはハードウェア観察結果等運転データから要因の推定絞り込み、サポートする繰り出しなり、経験を推定して対策の立案反映ということで、
0:15:39	今の赤の訂正で困っているところを行っているところですね右側のところの四角につきましてはこれ
0:15:46	2号炉の炉内観察残留ガラス除去の影響等について、コールドモックアップの溶融炉からのサンプル調査、またはシミュレーション解析、あとビーカ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	スケール試験等を行ってこれらの結果を反映しながらシナリオを推定していきたいというふうに考えます。
0:16:03	12 ページ目、現地調査のスケジュールです。こちらは先ほど説明した 2 月末ごろということで、
0:16:11	先ほどのフローの中の
0:16:13	番号と整合を図っておりますが、3 ポツのシナリオ推定のところを今進めております。並行して 2 月末までにある程度原因を推定すると。
0:16:25	これらの結果対策ノリちゃんとしては今の現状、除去の方法でありますとか運転管理指標の検討というのを対策として考えておまして、
0:16:36	それらの管理指標につきましては 2 号炉 3 部の違い、こういうところを運転条件確認試験の方で確認してそれを反映した上で、
0:16:45	3 号炉の運転令和 7 年度から開始していくと。
0:16:49	除去の方法につきましても、2 号炉の解体を 06 年度から開始する予定にしてそちらの方のレンガの観察分析等を踏まえて除去装置の検討改良に反映し、除去作業を令和 7 年度の運転後に行う男女共学に反映していくと。
0:17:09	というような形で全体のスケジュールを組んで進めているところでございます。
0:17:14	原因調査につきましては 13 ページ目から整理しております。
0:17:20	まず前回の 21 のキャンペーンと今回の 22-1 のキャンペーンの違いということで、①として、前回 21-1 のキャンペーンは、
0:17:31	その前の 19-1 のキャンペーンで発生した複数回の流下停止事象により、西側の提携斜面上部に白金族元素が堆積したことを起点として、
0:17:40	前回の運転中に堆積物が成長したと推定しております。
0:17:45	丸井で今回の運転については、前回の運転後に残留ガラス除去作業を行った後の運転であり、基本的には補助ガラスは全部除去して
0:17:55	いう形で確認した上で運転を行いました、
0:18:00	今回の運転と前回の運転を比較すると、運転開始時から主電極間電流が大きくて、前回、前々回の 21 のキャンペーンと同様のデータ推移が見られたと。
0:18:13	ということで、今回の運転前回の運転での運転職のデータ整理が、どういふふうになったことを考慮してこの書記の違いについて今調査を進めているというところでございます。
0:18:24	下のフローの通りですね下側の方の進展の傾向は同じなんすよ書記。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:29	については図スタートのポイントが違うんですけども同じようなその主電極電流の流れがあったということでこの違いについて調べているところでございます。
0:18:41	14 ページ目
0:18:43	今回、方除去作業と炉内観察の結果ですね、こちらの方会合等でも示しておりますが、赤の方をですね左側の写真の底部と西側の提携斜面上部これが前回 121 のキャンペーン同様の位置に確認されたもの。
0:19:01	今回追加で中部ですね、西側と東側の垂直部分にもガラスが残留した。
0:19:09	ということで、右側にありますように、その炉底の傾斜面部と、炉底の垂直部、炉の上部の垂直部ですね、こういう二つの箇所をに分類して、
0:19:23	これらの影響について評価をしているというのが今の評価の状況となっています。
0:19:31	まず 15 ページ目。
0:19:34	時計の傾斜面に通電経路が存在した場合の非電極間抵抗の影響評価ということで、下の方のちょっと簡単な二次元でのモデルで、
0:19:49	通年計の位置に着目した感度解析っていうのを行ってます。
0:19:54	これ下からの堆積物が帯状にどんどんどんどんこう上に成長していった時にまし電極間抵抗にどのように影響するかというような評価をしたものです。
0:20:05	右下のグラフがあります通り、主電極補助電極の状態。
0:20:11	までは特段し電極間抵抗に影響しませんが、それ以降、どんどん主電極に近づくにつれて、主電極間抵抗に影響を及ぼすということがわかっております。
0:20:23	ですので、その上にありますように、通電経路が自然効果抵抗に影響する範囲っていうのは補助電極上端以降の上の部分に当たるものと、というような形で今評価してますんでこの上に、
0:20:35	何かあれば、運転職から自然局間抵抗まし電極間電流の増加に影響を結んでないかというふうに考えてます。
0:20:44	16 ページ目、先ほど自然曲状態より上部ですねの垂直部に堆積物が認められたということでこの影響を
0:20:55	まず評価しております。
0:20:57	左下にありますはずですね、ガラスレベルが高い位置、これガラスが三本満タンに入った状況でこれから流下を開始します。このときは、
0:21:09	主電極上部にある壁面にある堆積物ですね、これガラ数の中にしたってる状況で、温度も高くなってきますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:18	電流パスが起きやすいと。
0:21:20	一方ガラスレベルが低い上場合、これは1本流下すると、主電極上手ターンぐらいまでガラスの液面が下がると。
0:21:30	そうずっと堆積物が大体露出するような位置になってこれ解析物の温度が下がりますので、ガラスの電流がそこに迂回する割合は少なくなると。
0:21:41	ということで、ガラスのレベルが高い場合と低い場合で、電流の回り込みがかなり変わってくるんじゃないかと。
0:21:49	ということで、仮にない場合とある場合に比較するとそこら辺の電流値の推移に変化があるんじゃないかというような推定をしてると。
0:21:58	右側の方のグラフにあります。これ4本線を引いてありますが一番下の赤の線これが01のキャンペーンということで2号炉ウンテンカイ初期ですね。
0:22:09	綺麗な状況の時ですね、この時はガラスの高い位置と、レベルの低い位置では48%程度の差があったと。その次は緑青紫、青というか、漢字でこれオードリーを解こうジャンルが除去を行った後の
0:22:25	キャンペーン16-1のキャンペーン19日キャンペーン22-1のキャンペーンで今回22-1のキャンペーンで、
0:22:32	その堆積物が認めましたのでもしここに堆積物があって、自然曲電流回り込みがあれば、
0:22:38	ガラスレベルの高い位置と低い位置での温度差がレベル1とは大きく変わるんじゃないかというような評価をしたんですけど、ほぼ同様な放水でありましたので、
0:22:50	ここの位置に堆積物があったとしても、自然局管理をきする要因ではないんじゃないかということで、先ほどの補助電極異常のところでの影響については主電極上部はあまり影響しないということで自然局の下部辺りに、
0:23:06	影響するポイントがあるんじゃないかということで、その17ページところで、
0:23:11	そちらについての調べた結果になります。
0:23:15	17ページにつきましては、このほど提携斜面上部ですね、こちらに、の部分に堆積物があった場合ということで先ほどの下からどんどん堆積したんじゃないかとこれは
0:23:30	1で堆積物とその帯状にあったという場合の評価としております。
0:23:37	ここで評価したところ、長土橋電極に近い辺りですね、この地下あたりに、その帯状の白金族を多く含むガラスが堆積した場合には、これ市で教官抵抗に影響を及ぼす可能性があるかと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:53	ということで、前回と同じように、西側の炉底傾斜面上部に何かしらの通電経路が存在していたものというふうには考えております。
0:24:04	18 ページ目、これは補助電極間傾向についての調査ハーモを並行して行っておりまして右側の上ですね、2号炉の全県データということで、
0:24:16	左から先ほどの1キャンペーンからずっと運転して除去作業をのタイミングで1回炉内のガラスを全部はつって、もう1回運転開始してるんですけど補助電極間抵抗の回復表がだんだんこう下がってきてると。
0:24:32	19-1と21、2-1はほぼ変わらないような状況ということで、こちらの方も徐々に、なぜ下がってきてるのかっていう今調査を進めています。
0:24:42	これについても、基本的にその左に書いておりますけど、
0:24:47	②ですね流下の運転の開始初期においては、
0:24:53	補助金強化で降雨の低下率の補助電極温度と充電強化傾向の関係では、ガラス中の白金族濃度、基本的にあまり変わらないものにかかわらず、
0:25:04	段階的に抵抗が低下してるってことは、炉内に同じように通電経路がやはり存在してるんじゃないかというふうな形で考えてます。
0:25:13	ですので、このような形で炉底部ふうにおいても除去したとしても、何かしらの通電経路が存在するというので、先ほどの西側の提携斜面上部ですね。
0:25:25	こちらでもガラス除去を行うとしても、何かしらのついでに経路がやはり存在してしまうんじゃないかというような形で今、
0:25:32	現許可の方を進めているところでございます。
0:25:37	19 ページ目これは、この通年経路になる可能性として、
0:25:43	基本的にそのガラス除去を行っているのでITBカメラ上は、ガラスが残ってないというふうに考えておりますが、
0:25:53	一方煉瓦組んでますのでレンガの目地とかに、白金族濃度の高いガラスがあるんじゃないかというようなことも少し想定して、
0:26:03	過去のコールドモックアップ試験などのサンプリングを行ってこういうところに、白金とこ濃度の高いガラスがあるかどうかという調査も行ってます。
0:26:14	この結果としては、この目地部にはその白金族の減少がほとんど分布しないと。
0:26:21	ということで、明治にはそういう白金族元素は入っていないということで、すのでこういうようなニジブを使った通電経路の可能性はないと。
0:26:31	いうふうな形で今評価しているところでございます。
0:26:35	20 ページ目として現状考えるシナリオの推定ということで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:41	まず一つ目としては今回の運転については、設備上トラブルなく運転を継続できており、運転手上的問題はなかったというふうに考えてます。
0:26:52	②として今回の運転は、運転職から主電極電流が上昇しており、前回の運転の開始、実を同じように、
0:27:00	運転職から市民局間抵抗に影響する位置に何かしらの通電経路、これ前回、堆積だ日の定型斜面上部付近、
0:27:08	存在していたんではないかということで、こちらはツリーを、結局ITがカメラで確認したんですけどちょっとそこを、最終少しやっぱり残っていたんではないかということでありましてかその煉瓦の凹凸等によって、
0:27:23	白金族が少し堆積しやすい状況であったんじゃないかと、そういうような少しあの方想定をしておりますが、何かしらの通電経路が存在してるんじゃないかと。
0:27:32	③としてこの通電経路を2市全局電流が流れて、前回同様に、炉内の流動が変化して、堆積が促進されて進展していったものというふうに今考えてます。
0:27:45	対策としては、
0:27:47	この自然曲管に影響及ぼすような、炉底傾斜面上部、こういうところに白金族を堆積させないと。
0:27:54	いうことで、その前に管理指標を設けて、検知すると。
0:27:59	早めにドレーンアウトして堆積物の提言を行っていくと。
0:28:06	また除去方法についても手順終了判断、改良等を進めるということで、
0:28:13	このような位置での体積をなるべく少なくする、抑制する、こういうような対策を今考えているところでございます。
0:28:24	参考資料につきましては3号炉の構造ですね、これ方に号炉から奥を伝えるというような方針で3号炉を計画しておりますが、そこら辺の方の考え方と、
0:28:35	一応参考資料として整理しております。
0:28:40	3027 ページ目以降が運転条件確認試験の概要ですね、こちら27 ページ28 ページ、あと与儀排気の組成についても、
0:28:49	リフォームについて過去のーの分析等を踏まえて撮影を設定してるっていう、そういうところを、28 ページのところに記載してますし、
0:29:01	29 ページ目30 ページは大森隼基試験討議廃棄試験の試験数と確認項目、資料2はこれは前回の会合で示しましたが短縮に向けたリスクの対応ということで今後、3号炉更新に向けて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:18	このような遅延リスク等を通常の作業での対応をさせていきたいという形で整理した資料として添付しております。説明は以上となります。
0:29:30	減少規制庁カトウです。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問コメント等ありましたらお願いします。
0:29:43	私は僕にありません。
0:29:49	まだです
0:29:52	5 ページのグラフと、6 ページの同溶融炉を使用する場合の
0:30:00	比嘉比較でメリットのところに書かれてる 2 号 6 ページの表で
0:30:07	保存裕度を使用する場合で、今多分 20 本程度って書いてあるので、ここの時は 1 年間の
0:30:20	いわゆる温泉を設置する想定してるんですが、
0:30:25	5 ページの方は 2 年 2 年程度って言ってるので、
0:30:30	これなんか合わせたほうがいいんじゃないかなと思うんですが、
0:30:35	モリカワはそうですねはい。合わせますと 50 本って年年 1 キャンペーン 25 年間 50 本程度ですね、するっていう形ではい。ちょっとここ記載のほうを見直します。
0:30:46	はい。
0:31:00	数、箕町規制庁カトウです。ちょっと教えていただきたいんですけども、
0:31:06	3 ページの、
0:31:08	3 ページ失礼しました
0:31:11	4 ページなんですが、
0:31:13	04-1 キャンペーンから 07-1 キャンペーンに 111 本やって、その時に残留ガラスの量は 90 キロと、非常に多くって書いてあるんですけどこうやって、
0:31:24	ちなみに前回はどのくらいだと前回とかこの 22 キャンペーンではどのくらいだったのかっていうのを、
0:31:32	すいません教えていただいてもよろしいですか。
0:31:36	はい。前回は 22-1 のキャンペーンは大体 30 秒くらいだったかと思えますさん。
0:31:45	ちょっとそのくらいの量でだったと思います。同じく 19 日から 21 日のキャンペーンの残留ガラスの大体 30 キロ程度だったかと思えます。
0:31:59	支店長カトウですわかりましたありがとうございます。
0:32:05	右、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:18	就職後ですけれども、各幹部もその方から何かありますか。
0:32:26	いやそれは中根氏からですけれども、ちょっとそこだけね、もしかしたら説明の中でされてたかもしれないんで、一応なってしまったら申し訳ありませんが、今回いろいろコールドの各どっかの中で、試験をして、
0:32:45	いろんな分析をやったと思うんですけど、ちなみにこのなんていうんでしょね難しいかもしれないんですけど、
0:32:52	その表面の粗さっていうんですかね、そういうのって何か確認されて、例えば荒井とか荒区内とか要するに、
0:33:01	ここちょっと一時話の中で出ていた0浦野なんていうか、レンガを、それからガラスを除去することによってそれが中心にし、
0:33:13	なんでしょうね電荷数分が少し変化してるんじゃないかっていうようなことを何か疑似話していたこともあったのでその辺りって何かちょっと検診件数が確認されて、
0:33:24	結果って出てるんですかね、ちょっとそこだけ教えていただければと思うんですけど、原則モリカワ、今ですねちょうど過去のそのコードックアップユーロからサンプルを切り出してちょっと表面を少し観察しようとしています。
0:33:42	まだちょっとその結果は出てませんが、そういう状況とかあと新品のレンガ等ある程度そういう残留したはつたような表面のレンガで、
0:33:54	白金族くうのたまり方っていうと滑り方ですかねそういうのが少しピーカ付の試験でできないかっていうところで今ちょっとそこら辺の試験の条件等を踏まえて少し検討しているところで、そういうのを合わせた上で、
0:34:09	ちょっと知った後ですね、どのようになるかというところを少し試験コード試験、過去の試験等を踏まえて評価できればなというふうに考えてます。
0:34:23	ありがとうございますそうするとこれからその辺りをやって最終的な、なんでしょう。原因のまとめをするっていうようなイメージであればよろしいですね。はい。ありがとうございます。はい。そうですね。そういうレンガの表面がやっぱり影響したのか後は
0:34:41	見た目ではつたと思ってても、I T Vカメラとおっしゃってやっぱりちょっとそこら辺がうまく凡例つかなかった。そういうところも少しあるのかなと思ってますんでちょっとそのレンガの表面についてはちょっと今試験、観察等をして評価していこうというふうに考えています。
0:35:01	はい、ありがとうございます。
0:35:07	規制庁カトウで他よろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:12	あと、規制庁までちょっと最後の 20 ページのところ、
0:35:19	主な推定の主シナリオということで、
0:35:23	②のところ、
0:35:26	主電極間抵抗に影響する 1 年通電経路が存在してたっていう、推定。
0:35:35	ですけど、
0:35:36	見た目ではガラスがはつられてるっていうのはわかるん、わからないっていうことが、
0:35:42	見た目だけの判断なんですけど。
0:35:45	何か
0:35:48	ワースを入れる前に、何か抵抗値をはかるとか、そういったことを考えられてるってことなんですかね。
0:35:56	原子力、本来そういうのができればいいんですけどなかなかやっぱりちょっとセル内です、ちょっとそこはなかなか難しいところがあるので、
0:36:07	今はそういう、やっぱりろてです、ねろても結局堆積してはつたとしてもやっぱり見目で、
0:36:19	ないと思ってもやっぱり少しガラスが残るような状況ではないかと想像しておりますので、主電極間に影響を与える位置に溜めない。
0:36:30	ことがまず一つかなと。出かけてしまうとやっぱり除去してもなかなか全部取りきれないっていうところがあるのかなと思ってますので、そこになればもう最初から溜めないような運転、管理指標でもありますとか、
0:36:44	そういうところを進めていって、除去の方法で、うまくはつる方法があれば、そういうところにたまって発令のかなと思ってますがそこはちょっと今後その力の
0:36:55	方法手順等を少し検討していきますけど、なかなかそのれんが一多くづるところまでやっぱりやってしまうと、
0:37:03	寿命自体にも影響しますので、素行わあなるだけ会議したいと思ってますので、基本的にその溜まってしまおうとそういうところに残ってしまうんじゃないかという前提で、
0:37:15	どうそのあとどのように対応していくかというところを今検討しているような状況です。以上です。
0:37:20	はい、検討状況はわかりました。
0:37:25	規制庁カトウですけれども、ちなみに、ちょっとまだ検討中だと思うんですけど、
0:37:30	金属を

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:33	炉底傾斜面上部に堆積させないような、
0:37:37	管理指標や県庁の改善って、
0:37:40	これ、
0:37:41	ただ、何か今検討している中で、ざっくりでいいんですけど、どういうことが考えられるとかってのはあるんですかね。
0:37:50	まず、今回前回の運転で変わってしまったのがその流下停止Cに規定をしてるっていうのがありましたので、その流下停止Cの原因ってのが
0:38:04	ノズルの変形とかがあったということでそちらについて
0:38:08	クリアを確認するとかあと、結合装置の方で少し1調整しながらやるっていうことで、基本的にそういう運転中に、その流下停止とかそういうのを
0:38:20	通常の違うような運転を行わないっていうことをまずこれが一つ重要なことかなと考えてます。
0:38:26	仮にそういうような流下停止等が起きてしまった場合は、そこでやっぱり一旦ドレーンアウトをして、炉内、
0:38:36	或いは規定なるようなものをどれだけ早めに家取り除くっていうことが二つ目の対策かなと。三つ目としては通常の運転でやはり最後、この今までの管理指標は主電極食うの近くまで堆積させて、
0:38:54	主電極照合するための管理資料だったんですけどやっぱりもうちょっとその前にですね、
0:38:59	2、上まで行かないところでどれようとして、除去の期間とか除去量を減らすっていうそういう、
0:39:07	三つの対策食うになるのかなあというふうな形で考えておまして管理指標につきましては、
0:39:14	炉底低温運転のまず補助電極が下がって、炉底低温運転の移行時間が長くなってそれで自然恐怖感抵抗が下がるっていうことですので炉底低温運転の移行時間が長くなってくると。
0:39:25	この予定からだんだんとその上の方までガスが解析してきてることになりますので、
0:39:31	その段階で、一旦トレイン後に移行する、そういうような形を今少し考えているところでちょっとそこは今後の現地調査を踏まえて、どのような対策にしていくかっていうのは、ちょっと今後検討していきたいと思っておりますけど、今ちょっと考えてるのはそのようなことを考えております。
0:39:50	規制庁加藤ですわかりましたありがとうございます。
0:40:00	はよろしいです。
0:40:03	すいません、ちょっと17ページの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:08	①のところで、補助電極 A B の温度差がほとんどないということなんですけど、
0:40:18	これどうなんだろう。
0:40:23	通電経路がないと、温度差が生じるっていうデータがあるのかっていうところを、
0:40:29	教えてください。
0:40:32	原子力、すいませんちょっとここ記載がすいませんちょっと足りてません。通常は、
0:40:41	取っちゃったっけな。の方が温度が高い。
0:40:47	ので、レベル麻生があるおかげで、その煉瓦の西と東で廉価の厚さが違うので、まず最初は普通は温度差がある状況ですね。
0:41:00	は通常だと、ただ、堆積物があるとそこに電流流れで温度が高くなってるので、そもそも温度差があったところがなくなってくるっていうことは、
0:41:12	どちらかに温度低い方に
0:41:17	ガラスが堆積して、その影響で、A と B の温度差がなくなってくるということは、このどちらかに、何か堆積物があるんじゃないかということでそれが、
0:41:28	西側ですね、B の方に堆積物があるということでこの温度差がないことはどちらかに、B の方に堆積物があるので温度差がなくなったと。そういうようなことでこの記載をします。ちょっとすいません。
0:41:43	ここだと若井前ちょっとそこは補足させていただきたいと思います。
0:41:47	はい。これ、21 のキャンペーンの事象を、
0:41:54	トレースしたっていうことなんですかね。
0:41:57	はいそうですね 21 のキャンペーンも同じような形で温度差がなかったと。今回も同じように、温度差がない状況でスタートしてますので同じように、
0:42:07	西側の方にたまって温度差がなくなったんじゃないかと。そういうような形で考えております。はいわかりました。
0:42:20	すいませんカトウですいろいろ聞いてしまったわけです 19 ページなんですけど、
0:42:26	電気、SEM の画像が入ってると思うんですが、これ見ると、
0:42:35	白金族ほとんど分布してないっていうふうについていつもバリウムとかのところ見ると、ポツポツと、何かあるようなふうに見えるんですけど、これって何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:46	この画像を解析したらどのぐらいのその重量、
0:42:51	比で入ってるかとかっていうのは出せないものなんですかね。
0:42:58	モリカワそうですねマッピングだと、ちょっと大体ある程度の
0:43:05	定性的なことは少しいえるかもしれません。ちょっとここだとなかなか表面的なマッピングの評価になるのでなかなかちょっとそこは、
0:43:15	評価としては難しいかなと思ってます。
0:43:20	そうですかわかりましたありがとうございます。
0:43:27	よろしいですか。
0:43:30	はい。ありがとうございます。
0:43:35	はい。よろしければ、次の資料の前に
0:43:41	すいませんいただいた、その点によると工程洗浄進捗状況ということで、この、よろしく願います。
0:43:51	はい。埋設の仲村です。工程洗浄の進捗状況について2点、ご報告させていただきます。まず12月21日以降の状況でございますけれども、
0:44:02	年末の異常を測りまして、持続期間短かったので、あまり進捗ないんですけども、プルトニウムの取り出しについては、2月に実施予定の経営力の層厚等に向けた現場準備作業年明け笹尾行っております。
0:44:15	また、ソフト関係ではIAEANGOとの3月実施予定の工程洗浄の細かなスケジュールですね、広井等のスケジュール調整を行っているところです。
0:44:25	二つ目は、ウラン関係への取り出しに関わる点検状況ですけども、3月のプルトニウムの取り出し開始前に今までに現場の状況の向上訓練とか、不安に取り出しにかかる設備点検を並行して行うということをこれまでご説明してきましたけども、
0:44:41	年明け裏の取り出しの準備図、図として本の応答の改定期、或いはダブル点検報告的に開始しております。今週からですね、そういったものを、点検準備等を開始しております。
0:44:55	当間、今回、裏の取り出しに関わる点検対象というのは、総数で約1200基と、これまでのせん断粉末とかプールの取り出しと比べて、
0:45:06	かなり多くなっておりますまた、すでに一部成功して実施した点検、約30基ほど点検しておりましたけども、その中で和田層との電気ヒータとか、等が経年変化により公開が必要なことがわかっておりますので、
0:45:19	現場の点検整備は計画的に進めて、夏ごろには、今後予定を行いまして、年内にウランの取り出しに着手したいと考えております。元の状況は以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:33	はい。規制庁加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして質問、コメント等ありましたらお願いします。
0:45:47	特によろしいでしょうか。
0:45:51	赤文化も特によろしいでしょうか。
0:45:57	はい。大丈夫です。
0:45:59	はい。ありがとうございます。そうしましたら引き続き準備をよろしくお願いします。
0:46:05	最後に、最後に、失礼します最後じゃないですね資料の2のご説明を続けてお願いします。
0:46:13	資料2について退職推進室長にご説明させていただきます。36ページ以降になります。上の方の資料、前回の面談におきまして廃止措置段階の保全についてパーキング会合の方で、
0:46:29	説明をというようなコメントがございましたので、
0:46:33	昨年11月の16日に出した資料を一部見直して、添付してございます。
0:46:41	変更等を中心にご説明させていただきます。
0:46:45	36ページから38ページにかけては日付以外、特にここはしてございませんで、39ページの方等ございません。
0:46:57	2社40ページについて若干見直しを行っております。ポツの3のところのところで、直近十年間で設工認申請廃止措置計画の変更認可申請を行った更新交換の件数として、を記載してございましたが、
0:47:15	昨年12月に委員会いただいた廃止措置計画の変更申請の中に、工事の計画、更新工事、交換に係る工事の計画が2件ございました。
0:47:28	こちらの方TVFのセル空間クーラーの電動機ユニットの交換、あとは、メンプラ等の浄水供給配管の一部更新というものがございましたのでその2件を追加しまして、計38件としてございます。
0:47:44	右下の方のグラフの方、これらの更新後半の内訳を示したグラフでございましてこちらの方配管類の方、1件追加、その他のところがインセルクーラーということで1件追加してございます。
0:48:02	幸運分地提示
0:48:07	すいません41ページは特に変更ございません。
0:48:10	42ページ、こちらの方で定型的な更新交換とかをすれば記載をしますが、
0:48:21	文章の中ですでに一部の機器、機器等については今後の更新交換も含めて廃止措置計画に記載することにより、松戸の廃止措置計画の変更認可申請を不要としているというところで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:36	そこに議事、具体的な事例としまして、メンブラ等のセル系排風機の弁漁期というものを記載してございましたが今回のTVFの郷加瀬のインセルクーラーの電動機運転につきましても、
0:48:51	申請書の中で、今後既設と同等のものを交換するというを記載しておりますのでその事例を追記してございます。
0:49:03	43 ページについてはここご報告ございません。
0:49:07	説明は本城くんであります。
0:49:10	はい。規制庁加藤です。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問コメント等ありましたらお願いします。
0:50:31	フィードすっぽん。
0:50:49	これが内容と、
0:50:54	そもそもですけど概要と、
0:50:57	あとその後ろくらいのがまずあってない。
0:51:05	なんかスライドはもう氷カー一色にしか見えなくて、ベース、概要を見ると、
0:51:14	地区は、
0:51:19	安全を発送するためには、うん。
0:51:22	こういうのをやっていかなきゃいけないんですって言えば、大いに合理化をしていく必要がありますよっていうのが見えるようになってるんですけど。
0:51:33	検討のスタートすればこの程度の資料でいいかなとは思いますが。
0:51:38	ちょっと、特に 38 ページですね、ここら辺は少しちょっと
0:51:45	Lバンドの文章で前提が抜けるタイプでちょっと書いてくださいと。
0:51:52	が上かなあという気がしますね。
0:52:00	はい、田内ですスライドの 38 ページの方の文章の方を見直していきたいと思います。はい。
0:52:12	これ、別に期限があるわけじゃないので、継続審議で、行きたいということだと思うんですけど、
0:52:29	何を検討して欲しいのかっていうのを少しより明確にした方がいいかもしれませんね。
0:52:38	生命維持施設後、な中身なのか。
0:52:44	それとも点検周期なのか。
0:52:47	同等品への交換だけでいいのかね、もうちょっとわかんないんですけど。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:55	何を、何を県規制側に対して要求させるのかっていうのは、少し明確にした方がいいような気がしますよ。
0:53:05	これって何かちょっとぼけてるような気がしますね。うん。
0:53:13	ああいった別です。主に同等品への交換というところをお願いしたいと考えておましてそちらの方がちょっと目立つような形でむしろを記載したいと思います。
0:53:28	兵頭品を、あとは動的に取りかえるとき2じゃどこまで。
0:53:36	自主法案の中で、
0:53:40	やっていくのかと。
0:53:41	要はマージン収納事務所ケースは当然自分たちでやるわけであって、
0:53:46	使用前確認もあるのかもしれませんが、
0:53:50	このケースがあったらね放課後は包括認可おっしゃるわけなので、
0:54:00	例えばこの前、どこだっけ、ガラス数TVFかなんかの冷却水の二次系の冷却水も、
0:54:12	管台が何か分コンテンツあったような気がするんですけど。
0:54:18	応急措置して、とりあえず仮復旧みたいな感じで、変な話、やっちゃったっちゃうのがあるんですけどね。
0:54:28	そういうのはまずおかしいんだっていうトーンで見せていかないと、そういうのをやるんじゃないくて、そうそう、ある程度工程を止めて、
0:54:36	工程中じゃなければね、工程中じゃなければ、サービスじゃなければ、しっかりとした
0:54:48	鉄Bを踏んで、
0:54:50	管台を取りかえるのが適切なんだけれども、その時間自体が、まず安全確保上、無駄なというようなトーンで攻めてこないと。
0:55:03	やっぱり乗ってこないよね。
0:55:05	要は我々がやってる規制が、
0:55:08	ちょっと無駄なんじゃないですかって言うことで、
0:55:11	書いてこないと。
0:55:16	やっぱり面白くないじゃないですか。
0:55:23	そういうノーで、
0:55:27	あって、かつ、
0:55:29	とは言えないとは言いながらも、
0:55:32	事業者の責任だけでやるのとは自信がないやつは、例えばSクラスSクラス系とかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:41	あとは
0:55:43	あれなんだろう、あん時とか、ワー、TVFは浦和のみはやっぱりこれ、これまで通りやりますよとかっていう手もあるだろうし、
0:55:53	PDFは海であっても、こういうところは抜けるっていうか、安全確保上を、この手続きを踏んでる時間が無駄だと。
0:56:03	いうのがあるのであればそういうのを言っていただきたいと、そういうところだと思うんですね。だから、論点を提示していただきたいっていうのは、実際のところで、
0:56:16	今の時点では、論点中にはこういう問題がありますよっていうところまでであって、
0:56:23	うまく事業者の方で誘導していかないと、運転をね、
0:56:30	誘導していくように見せていかないとと言う機関が出ないんですね。
0:56:38	いや僕はこれ事業者には言う機関で、その安全を確保するためには我々に任せてる方が安全なんですよって言うとなんで、
0:56:47	示したいんですね。
0:56:51	私の理想は、
0:56:53	夫婦なので、その理想からすると、少しちょっとかけ離れてるかなあという気がします。又吉さんが資料1はタグチさんらしい資料だっていう、
0:57:04	気もしてありますけどね。
0:57:10	だからちょっと時間が、
0:57:14	20ある限って、これ26年1月19日、24なので、どこまでやるのかっちゃうのはありますけれども、もう少し論点絞っ。
0:57:24	でもいいと思いますし、紙の枚数じゃないと思うんですよ。こういう問題点がありますと、この問題点を解消するために、我々に少し、
0:57:33	こういうスケジュールで検討していきたいとか、
0:57:39	こういう考え方で進めていきたいとかそういう感じの説明でも僕は構わないと思うんですね。
0:57:46	かえってそのほうがかっこいいんじゃないかっていう気がするんですよ。
0:57:52	今と多分発散しちゃうんじゃないかと思うんですよ議論は。
0:57:56	これどこではね事業者主導で進めて欲しいんです議論。
0:58:04	何かというとプラントしてるのは事業者だから、
0:58:07	我々じゃない。
0:58:13	実証ができるっていうんだったら時報ができるっていう説明を、
0:58:17	我々の代わりに結局説明責任を負うわけだから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:23	我々がやりますよっていうのを説明できないといけないんですよ。
0:58:27	そこら辺の確保もちょっと間ないしさ。
0:58:31	もう意気込みっていうかね、そういうところを出して行って欲しいんですよ、今回。
0:58:39	それだったら多分 24 やる意味あるけど、そういう紙が出ないんだったら 20 流して、3 月か 4 月でもいい。
0:58:49	いいかなっていう気がしますね一応管理官との関係では、1 月やりますと言っ てはいるけど、このテープであれば、ちょっと流してもいいかなって いう気もしてます。私は、
0:59:05	紙の枚数じゃないんですよ。
0:59:09	だから端的に言えば 38 ページの書き方の問題と、あとは、39 はまあ この通りでいいのかなっていう気もしますけど。
0:59:24	数が動画じゃないんですよ。パソコンデータじゃないけど、数の議論で 行っちゃ駄目なんですよ。風の機能は最後についてくるんです結果的に。 ちなみに関西の議論もあるんですっていう感じで持ってこないよ。
0:59:40	これまでやってきた保全の中で、一番むだの保全ってこういう保全があり ましたって保全活動がありましたよ。
0:59:48	要は規制人代わって待って待って待ってやったものもありませんよ。
0:59:53	そういうのっておかしいじゃないですか。
0:59:55	というような問題の提起から始まって、我々少しこういう視点で検討を開 始してますというような、そういう資料を、
1:00:05	私は望んでいます。
1:00:10	そうすると事業者のとりあえず言った話聞いてみましょうかっていう話にな ってくると思うので、そういう感じで議論が進むことを、私は、
1:00:23	そう、考えてはいるんですけども。
1:00:29	とりあえず以上です。
1:00:36	田内です。今のコメントを踏まえてちょっと資料の方見直して、来週の面 談でもう一度ご説明させていただきたいと思います。
1:00:45	ごめんなさい。
1:00:54	後ですけども、ちなみに、この会合の
1:00:58	議題がですねこれ、これと、今考えてるのはこれとばらすぽかーなんです が、ちょっと広報の関係で、1 週間前に一応議題を確定させないといけない んですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:12	今回やります、やりますかっていうことなんですが、今の話だと、やるって言うてるから、わかりました。直すって言うてるから。
1:01:23	いやをやるんやるんじゃないか。
1:01:28	わざわざ離してるのがちょっと気になってる。
1:01:40	阿部書記、生田目です
1:01:44	多分芽出しの費用として少し和らげ過ぎた感じがあると思いますので、もう少し事業者としての主張を
1:01:53	今はもう少しいろいろ細かくいろんな主張をちょっと入れ込み過ぎてたっというところもあったのもう少しちょっとそれを復活させるような形で、こういう趣旨で広告でやりたいんだっていう主張が仮に伝わるような資料に仕上げたいと思います。あと、もちろん、
1:02:09	はい、その方が面白いかもしれない。
1:02:14	ちょっとそういうふうに、少し方向させていただければと思っています。うちはとりあえず受けとめますから、そこまで言うなら、じゃあ、ちょっとやってみてくださいよと、検討して検討を継続してくださいよと。
1:02:30	都度、監視チームで出してくださいよっていうのがうちの回答になりますので、
1:02:37	もし、内部であれば、適宜ご相談ありますから、監視部の場で悩みを出してくださいと、それぞれで過去この場で議論しようじゃないかっていうような話にしていけばいいと思うんですけどね。
1:02:54	すいません、ちょっと
1:02:56	はい作り込んだ形で基本的には議題、いろいろつもりで準備していきたいと思っています。来週引き継ぎはまだちょっと後でスケジュールの方説明しなきゃいけない。来週にはまた面談設定していただきたいと思っています、ここでしっかり盛り込んだもので、
1:03:15	ご説明できればと思います。
1:03:23	はい、はい、よろしいでしょうか。
1:03:26	はい。ありがとうございます。最後にスケジュールのご説明をお願いします。
1:03:32	です。44 ページ 36 ページに s t a g e 示してございます。今ご説明しましたように 24 日の監視会合に向けて、
1:03:45	できれば次週 18 日に入れさせていただいておりますがメンバーの方も設定をお願いできればと思っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:55	それ以降また継続的に状況を監視の会合等の状況を見ながら面談のスケジュールについて相談させていただければと思っております。簡単ですが以上です。
1:04:08	19 だけ。はい。
1:04:11	いや、19 なんですが、
1:07:00	資料、資料のブラッシュアップ。
1:07:09	カトウですすいませんちょっとこちらの都合で
1:07:12	18 日なんですが、一応 1 時半からでお願いしたいと思います。
1:07:19	場所は、この同じ技術で結構ですので、
1:07:23	よろしいでしょうか。
1:07:25	はい。伊佐津島下よろしく申し上げます。
1:07:28	はい。
1:07:32	規制庁はやっぱ、スケジュール関係で何かありますか。特にないですか。 はい。
1:07:37	はい。こちらから特にありませんが、引こうか何かありますでしょうか。
1:07:44	はい。機構からも以上になります。
1:07:47	はい。それでは本日の面談終了にしたいと思いますどうもありがとうございました。どうぞ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。